2023　SYLLABUS
通信教育部
北海道情報大学

【 教養科目：目次 】

心理学 2
哲学 4
物理学の基礎 6
基礎生命科学 9
サスティナビリティ学 11
モチベーションの科学 15
ホスピタリティマネジメント 17
メディア・リテラシー入門 19
健康科学 22
海外事情（アメリカ編） 24
海外事情（中国編） 26
海外語学・文化研修（中国大連編） 28
英語 I（初級英語読解） 30
英語 II（初級英会話） 32
英語 III（中級英語読解） 34
英語 IV（中級英会話） 36
英語 V（実用英語） 38
初級中国語 40

心理学 こころと行動のしくみを探る

ナンバリング 2 単位　　DCS101

担当教員： 稲田　尚史

専　　門　　心理学（臨床心理学・認知心理学）

出身校等　　北海道大学　大学院　文学研究科　文学修士　博士（医学）

現　　職　　九州産業大学　人間科学部臨床心理学科　教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業

授業範囲

第 1 講　心理学とはなにか（p.1）～第 16 講　適応の障害と心理療法（p.204）

試験期間

シラバス検索画面トップページ（https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/）下部の「2023 学年暦」を参照

試験範囲

授業範囲すべて

（持ち込み許可物）一切自由

（試験に関する注意事項）印刷授業においては、学習用プリントを参考にしながらテキストをよく読み、要点をノートにまとめよく理解しておくこと。

科目の概要

心理学は人の心の働きや行動を通して研究する学問である。一般的な心理学のイメージは、心理検査や心理療法など、個人の心の状態を調べたり、適応を改善したりする臨床的なイメージが強いかもしれない。しかし、心理学は人の行動に関わる様々な機能を研究対象としており、基礎的なメカニズムからその応用に至るまでその範囲は非常に広い。学習範囲が大変広いので、学習用プリントを基本として教科書や参考図書を用い、それぞれの項目について自己の体験と関連づけながら理解するよう心がけて欲しい。

科目における学修の到達目標

ここでは、一般教養としての心理学の学習を目指しており、できるだけ広く偏りのない心理学の基礎的知識とその基本的考え方を学んで欲しいと考えている。心理学を学ぶことで、身の回りの様々な疑問が解決するという単純なものではないが、人間とはどのようなものかを知り、自分を知り、他人を知るという過程を経て、自己の成長に繋げて貰えるならば望外の喜びである。単に事柄を記憶するのではなく、自分の身の回りの出来事や経験と結びつけながら、体験をもとにした学習を進めてくれることを願っている。

講義の方針・計画

第 1 回：心理学とはなにか・行動の発生
第 2 回：要　求
第 3 回：要求と行動
第 4 回：知　能
第 5 回：性　格
第 6 回：性格の形成
第 7 回：感　情
第 8 回：学　習
第 9 回：記　憶
第 10 回：認知と思考
第 11 回：感　覚
第 12 回：視聴覚
第 13 回：個体の発達
第 14 回：社会心理
第 15 回：適応の障害と心理療法

準備学習（予習・復習）

印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。
わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。

成績評価の方法およびその基準

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 科目試験による評価 100%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。

教科書

書　名：心理学（新版）
著者名：大山 正、詫摩武俊、中島 力
発行所：有斐閣
ISBN：9784641111028

参考書・参考 Web サイト

なし

関連授業科目

なし

その他

なし

担当教員の実務経験

大学院附属臨床心理センターにおける相談・指導
北海道・札幌市・福岡県　スクールカウンセラー
精神科病院での検査・相談
豊富な臨床経験に基づき、心理臨床場面や日常生活での様々な場面の具体例について、心理学の観点から考察を行うことができるような教育を実施する。

哲学 人間と世界について考える

ナンバリング 2 単位　　DCS102

担当教員： 三浦　洋

専　　門　　哲学、倫理学、芸術学

出身校等　　北海道大学大学院文学研究科

現　　職　　北海道情報大学　情報メディア学部　教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業・前期面接授業・夏期面接授業・後期面接授業

授業範囲

教科書の内容全て。

試験期間

シラバス検索画面トップページ（https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/）下部の「2023 学年暦」を参照

試験範囲

教科書の内容全て。
（持ち込み許可物）一切自由。
（試験に関する注意事項）印刷授業の科目試験は、インターネット試験で実施します。その際、教科書は必ず持参すること。面接授業（スクーリング）の場合も、試験の際は必ず教科書を持参すること。

科目の概要

哲学は元来、すべての学問を包摂する知的探究の営みです。人間、自然、社会など、およそ世界の存在に関わる事柄はすべて哲学の対象でした。今の社会では、人々の考え方を単純に「哲学」と呼ぶ場合もありますが、学問としての哲学には厳密さが求められ、哲学独特の問題の立て方や探究方法が古来思索されてきたのです。この授業では、古代ギリシャから現代まで歴史を追って著名な哲学者や主要な哲学の潮流を学び、そのことを通じて哲学という学問のあり方そのものを学びます。

科目における学修の到達目標

哲学には人間の論理的思考の原型が秘められていますから、自分の力で物事を粘り強く考える姿勢を養うことができます。また、哲学の探究は生き方の思索に結びつきますから、歴史上の哲学者たちが考えてきたテーマを学ぶことは、自分の人生を深く考えるときのよりどころにもなるはずです。これら二点を踏まえ、哲学を単なる知識の寄せ集めとしてではなく、生きた教養として身につけることが目標です。

講義の方針・計画

第 1 回 : 哲学のはじまり
第 2 回 : 自然の元をたずねる
第 3 回 : ソクラテスと「魂の配慮」
第 4 回 : プラトンとイデア
第 5 回 : アリストテレスの人間観、エピクロスとストア派
第 6 回 : 中世のキリスト教哲学
第 7 回 : デカルトと「われ思う」、スピノザとライプニッツ
第 8 回 : ロックとイギリス経験論、バークリとヒューム
第 9 回 : カントの理論哲学ーゲルと弁証へ法
第 10 回 : ーゲルと弁証へ法
第 11 回 : へーゲルと弁証法
第 12 回 : 功利主義と幸福
第 13 回 : マルクスと唯物論
第 14 回 : 実存主義と本来の自己
第 15 回 : 現代哲学の状況

準備学習（予習・復習）

印刷授業は、教科書や学習用プリントなどをもとにして自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の

内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。
　わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。2 時間。
印刷授業以外の授業形態において、以下の準備学習を行う。
（予習）聴講前に、教科書の該当箇所に目を通してください。
（復習）聴講後に、教科書の該当箇所を読んで、確認してください。

成績評価の方法およびその基準

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 科目試験 100%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。

教科書

書　名：「テキスト　哲学」（初版）
著者名：宇都宮　芳明
発行所：丸善プラネット
ISBN： 9784901689007

参考書・参考 Web サイト

なし

関連授業科目

なし

その他

なし

担当教員の実務経験

実務経験なし

物理学の基礎 物質とエネルギーから自然を考える

ナンバリング 2 単位　　DCS103

担当教員： 穴田　有一

専　　門　　ソフトマター物理学（高分子固体物理学）

出身校等　　北海道大学工学部応用物理学科卒業，北海道大学大学院工学研究科応用物理学専攻修士課程修了，北海道大学大学院工学研究科応用物理学専攻博士後期課程単位取得退学，工学博士

現　　職　　北海道情報大学教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業・後期面接授業・前期インターネットメディア授業・後期インターネットメディア授業

授業範囲

教科書の第 6 章から第 9 章まで

1. 温度と物質

気体の圧力・温度が分子運動とどんな関係になっているかを理解する。

（熱運動、理想気体の状態方程式、熱運動のエネルギー）

2. 物質の法則

物質に熱を与えて仕事を取り出す熱機関の原理を学び、熱と環境の関係を考える。

（熱力学第 1 法則、熱力学第 2 法則、カルノーサイクル、エントロピー）

3. 光の性質

波としての光の性質を学ぶ。（フェルマーの原理、干渉、回折）

4. 熱から光へ

光の粒子性について学び、物質の構成要素である原子の構造を理解する。

（熱放射、プランク定数、光子、光電効果、ボーアの理論）

試験期間

シラバス検索画面トップページ（https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/）下部の「2023 学年暦」を参照

試験範囲

授業範囲に記載した範囲から出題します。教科書の「例題」「問」は十分に学修してください．「学習用プリント集」は必要に応じて参照して下さい。

（持ち込み許可物）一切自由

科目の概要

幼い頃身近な自然現象に触れて、疑問をいだきまた好奇心をかきたてられたことはありませんか。そんな疑問に 100%答えられる科学はありませんから、いつのまにか自然に対する好奇心を忘れてしまった人も多いと思います。それでも時には、ミクロの世界や宇宙の不思議に興味を引かれることがあるのではないでしょうか。

物理学は自然の仕組みを解き明かす一つの切り口にすぎませんが、多くの科学技術の基礎であり、様々な学問や私たちの社会に非常に大きな影響を与えてきました。物理学の知識は現代人に必要な教養の一つであるだけでなく、どんな専攻分野の学生諸君にとっても、将来役に立つ学問であると思います。

科目における学修の到達目標

本科目では、物質と空間と時間が物理学ではどのように理解されているかを学んでもらいますが、その学習を通じて自然の仕組みを解き明かす物理学の手法と思想を理解することを目標とします。

講義の方針・計画

詳細な知識を増やすことよりも、物理法則にもとづいて自然現象を理解することが大事です。できるだけ身近な現象を思い浮かべて、どのようにしてその現象が生じるのかを物理的に考えてみてください。数学は必要です。高校までの数学で十分ですからよく復習してください。講義の内容をより深く理解したいならば、本学通信教育課程の「三角関数・指数関数・対数関数」も学習しておくとよいでしょう。

物質の物理のテーマは「物質」です。運動の法則から出発して物質の性質を考えます。分子の運動と巨視的な物質の性質がどのように関連するか理解してください。熱力学の基本法則と資源の有効利用や物質と光の関係についても考えます。

第 1 回：分子運動と力学的エネルギー
第 2 回：容器に閉じ込められた分子の運動
第 3 回：気体の状態
第 4 回：状態方程式
第 5 回：仕事と熱
第 6 回：熱機関
第 7 回：カルノーサイクル
第 8 回：熱効率とエントロピー
第 9 回：光の進み方
第 10 回：波の性質
第 11 回：波としての光
第 12 回：温度と光
第 13 回：光の粒子性
第 14 回：原子の仕組み
第 15 回：まとめ

準備学習（予習・復習）

印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。
わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。

印刷授業以外の授業形態において、以下の準備学習を行う。
（予習）聴講前に、教科書の該当箇所に目を通してください。
（復習）聴講後に、教科書の該当箇所を読んで、確認してください。

成績評価の方法およびその基準

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 科目試験による評価 100% <w:br />ただし、対面のスクーリングでは、授業中の演習問題などを平常点として加味して評価します。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
IM 授業は、練習問題を解答すると、解答に応じたコメントが画面に表示される。

教科書

書　名：運動と物質―物理学へのアプローチ―（初版）
著者名：穴田有一
発行所：共立出版
ISBN：9784320033979

参考書・参考 Web サイト

参考書を一つだけ挙げておきます。必要ならば参考にしてください。
書　名：身近な教養物理（初版）
著者名：小暮陽三
発行所：森北出版

関連授業科目

本学の科目ではありませんが，中学・高校の数学で学修する文字式の計算，指数計算を復習しておくことを勧めます．

その他

なし．

担当教員の実務経験

1981 年から 1982 年にかけて、石油化学企業に勤務し、4 ヶ月間の工場実習を経て研究所に配属され、プロジェクトチームのメンバーとして合成樹脂材料の研究開発に従事しました。開発テーマの内の一つ、自動車部品メーカーに販売することを

目的としたゴム状の合成樹脂材料の開発では、ガラス面での低摩擦力を実現するために、物理学研究の基本的方法論にもとづく独自の分析方法を考案し、様々な摩擦係数をもつ材料を容易に成形するための材料組成をつきとめました。

この実務経験から学んだことは、学問の基礎を修得することが実務上でも有益であること、そして、研究開発を進めるためには、プロジェクトチームの一員として協調しながらも、独自の考えを持つことが重要であり、口先だけで無く、その考えに基づく実績を作ることで、チームと協調しながらプロジェクトの前進に寄与することができるということです。

本学の担当科目では、この経験に基づいて、基礎知識と学問の方法論を学習することの重要性を伝えるとともに、その基礎に裏付けられた自分の考えもち、他者とコミュニケーションを十分にとりながら協調することの重要性を伝えています。

基礎生命科学 「生命」という小宇宙のしくみを知る

ナンバリング 2 単位　　DCS104

担当教員： 居弥口　大介

専　　門　　生物物理学、構造生物学
出身校等　　北海道大学　理学博士
現　　職　　知的情報総合サービス

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業

授業範囲

教科書の内容すべて

試験期間

シラバス検索画面トップページ（https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/）下部の「2023 学年暦」を参照

試験範囲

授業範囲すべて
（持ち込み許可物）一切自由

科目の概要

近年、ヒトの設計図とも呼ばれる全ゲノム情報が解明され、身体のなかで機能しているタンパク質に関する膨大な情報を、誰もがデータベースから取得することが可能な時代になった。そしてゲノム情報を基盤とした新たな創薬の世界が幕を開け、固体差を考慮するテーラーメード医療も現実になろうとしている。さらに遺伝子操作をはじめとするバイオテクノロジーの発展はめまぐるしいものがあり、これらを使った遺伝子組み換え食品の開発、ES 細胞や iPS 細胞などによる再生医療など、最先端技術に関する情報が新聞やテレビなどで伝えられている。しかしながら、これら最先端技術を用いた生物科学や医療などに関する情報は、生命科学に関する基礎的知識を身につけていなければ正確に理解することができない。

科目における学修の到達目標

本講義では、人体の構造や遺伝、免疫など、ヒトのからだに関する基礎的な知識について正しく理解することを目標とする。

講義の方針・計画

本講義では教科書として「わかる生物学」（化学同人）を使用します。学習用プリントを参考にしながら下記の内容について学習してください。

教科書の各章の終わりには章末問題があります。学習した知識の確認のために必ず解いてください。

第 1 回：「生物とはいったい何だろう」
第 2 回：「細胞から、からだができる」―細胞の構造と機能、組織、器官・器官系―
第 3 回：「細胞から、からだができる」―細胞の分裂と増殖、配偶子形成と受精―
第 4 回：「食べ物からｴﾈﾙｷﾞｰをつくる」―ｴﾈﾙｷﾞｰを作り出す分子 ATP、食べ物からｴﾈﾙｷﾞｰをつくるしくみ―
第 5 回：「食べ物からｴﾈﾙｷﾞｰをつくる」―脂肪酸からのｴﾈﾙｷﾞｰ供給―
第 6 回：「食べ物から、からだをつくる」―からだは食べ物からどのようにしてできるか―
第 7 回：「食べ物から、からだをつくる」―生きてゆくための水―
第 8 回：「人体の構造を探る」―人体のつくり―
第 9 回：「人体の構造を探る」―血液の働き―
第 10 回：「からだの調節のしくみ」―神経系による調節、内分泌系による調節―
第 11 回：「からだの調節のしくみ」―免疫とは―
第 12 回：「子どもが親に似る遺伝のなぞ」―メンデルの遺伝の法則―
第 13 回：「子どもが親に似る遺伝のなぞ」―変異―
第 14 回：「遺伝子の本体 DNA」―分子生物学への道程、DNA 二重らせんの発見―
第 15 回：「遺伝子の本体 DNA」―DNA と突然変異、遺伝情報の調節、分子生物学の今後―

準備学習（予習・復習）

印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。
わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。

成績評価の方法およびその基準

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 科目試験による評価 100%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。

教科書

書　名：わかる生物学　知っておきたいヒトのからだの基礎知識 （初版）
著者名：小野廣紀、内藤通孝
発行所：化学同人
ISBN：9784759810424

参考書・参考 Web サイト

なし

関連授業科目

なし

その他

なし

担当教員の実務経験

平成 18 年度から平成 23 年度まで大学薬学部の教員として生命科学分野の研究に従事。遺伝子工学、生化学、X 線結晶構造解析などの実験手法を使用して、主に酵素や転写因子などのタンパク質の構造・機能を解析する研究を行った。これらの実務経験を生かして、医療やバイオテクノロジーなどの最先端技術の話題を正しく理解するために必要な生命科学の基礎的知識の習得につながる教育を実施する。

サスティナビリティ学 地球と共に生きる

ナンバリング 2 単位　　DCS106

担当教員： 横山　隆

専　　門　　建築材料学、建築環境学

出身校等　　北海道大学大学院　工学研究科建築工学専攻構造材料専修修士 スウェーデン王国国立シャルマース工科大学　土木工学部建設 材料講座 Licentiatexamen 取得（Half Doctor Degree）

現　　職　　最高裁判所専門委員（札幌地方裁判所所属）、司法委員および民事調停委員（札幌地方裁判所および札幌簡易裁判所所属）

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業

授業範囲

教科書の内容すべて・学習用プリントの内容すべて

試験期間

シラバス検索画面トップページ（https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/）下部の「2023 学年暦」を参照

試験範囲

教科書の内容すべて・学習用プリントの内容すべて
（持ち込み許可物）一切自由

科目の概要

レイチェルカールソンが「沈黙の春」(1962 年)，ローマクラブが人類の危機レポートとして「成長の限界」(1972 年)を発刊して以来，環境問題が地球全体に影響を及ぼす喫緊の課題として認識されて久しい。
現代に於いては，環境問題を克服して環境的(エコロジカル)持続可能性を追求し,さらに経済的持続可能性や社会的持続可能性を併せてバランス良く実現させていく持続可能な発展(Sustainable Development)と言う概念で解決に向けた方向性が示されている。

サステイナブル･デベロップメント(持続可能な発展)は，ブルントラント委員会で「将来の世代が自らのニーズを満たすための能力を損なうことなく，現在世代のニーズを満たすような発展」と定義づけられ(1987)，世代間衡平,南北社会間衡平，生物多様性への配慮等の諸要素を広く包含し，持続可能な発展への課題解決を目指したサスティナビリティ学へと概念的に進化してきている。 また、2015 年 9 月、国際連合で開催された「持続可能な発展サミット」では、2030 年までに達成すべき 17 の持続可能な発展目標 SDG s （Sustainable Development Goals）と 169 項目の具体的ターゲット(達成基準)が 193 の加盟国によって全会一致で採択されている。

しかし、現実の諸問題はその背景やメカニズムを含め，非常に多くの要素が複雑に絡み合ったものであり，正確に問題の所在を理解し,課題解決に向けた対策を打つことは容易ではない。細分化され専門分野に深化し、要素還元主義を前提に構築されてきた単体の既存科学･技術領域のみの努力では，実践的解決能力を失ってしまっている。様々な情報や視座,相反する選択肢が混在する中で主観的な判断が求められる状況下にあるが，地球や自然,人間や地域社会の成り立ちにまで根ざした知識や思考力，問題の実態を把握する直感力，そして何よりも過去や他の事例を学びつつ解決を目指す熱い想いが，全人類の直面する諸課題に対する実践的解決能力に結びつく事は間違いない。

そもそもサスティナビリティ学というものが 1 つの学問･科学分野として成立するのか議論が続いているのも事実である。諸説はあるが，これがサスティナビリティ学で，この方法論がサスティナビリティ学の本質であるとは明快に提示されておらず，共通認識にもなっていない。概念的な大きな枠組みとして示されているのみである。

しかし，現象が複雑で個別科学の領域を逸脱している地球規模の課題から地域的な課題まで取り扱う実践的解決能力を今ほど求められている時代は無い。地域的課題の集合体が地球全体が直面している課題であり、我々一人一人が地球とともに生きるため，身の回りの実践的課題解決を通じて自分自身のサスティナビリティ学を組み上げることが重要であり，未来世代への責務でもあることを学んでいきたい。

発展的学習として、最近話題になっている「人新世＊１の資本論」(著者：斎藤幸平　集英社新書)に示された「気候変動を放置すれば、この社会は野蛮状態に陥るであろう。それを阻止するためには資本主義の際限なき利潤追求を止めなければならないが、資本主義を捨てた文明に繁栄などありうるのか。」と言う危機感と、著者が描きだした「晩期マルクスの思想の中に眠っていたヒントから構想した豊かな未来社会への具体的な道筋」を吟味しながら理解する力も身につけていきたい。

＊1「人新世：人類の経済活動が地球を破壊する環境危機の時代。ここ数十年の地質年代区分として提唱されている

科目における学修の到達目標

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災以来、それまでのエネルギーや地球環境への考え方、政策、そして我々のライフスタイル、人生観そのものまで問われている。有限の資源しか持ち合わせていない地球に依拠している我々人類は、原子力エネルギーや化石燃料消費（地球温暖化の原因となる）問題はどのように考えられ、最優先に考えられなければならないことは何か？今の資本主義社会の成長の行き着くところには何が見えてくるのか？将来世代にわたる幸せはどうすれば実現できるか？と問われている。

教科書「人新世の科学　ニュー・エコロジーがひらく地平」と「ポスト資本主義 －科学・人間・社会の未来－ 」に示された、厳しい現実社会のあり様とその課題解決に実践的に向き合う著者たちの思考を辿ることにより、課題解決手法としてのサスティナビリティ学の概念と思考の方法（方向性と幅）を追体験し、課題と解決策を認識して自分自身の意見をまとめる力を付けることを目標とする。

講義の方針・計画

第 1 講：サスティナビリティとは（学習用プリント集）
　　成長の限界と持続可能な発展 I（学習用プリント集）
第 2 講：成長の限界と持続可能な発展 II（学習用プリント集）
第 3 講：成長の限界と持続可能な発展 III（学習用プリント集）
　　脱成長社会への転換は可能か（人新世の資本論の吟味）

以降、教科書「人新世の科学 －ニュー・エコロジーがひらく地平－ 」
　オズワルド・シュミッツ 日浦 努 訳 岩波新書 No.1922 第 1 刷 2022.3.18 発行
第 4 講：はじめに ニュー・エコロジーとは、人間による地球支配の拡大に直面する人新世（アントロポセン）と呼ばれる新しい時代において、人間と自然の分裂を克服し、生態系の機能を維持する問題に取り組むことを目的とした学問であることを学びます。
　　第 1 章　持続可能性への挑戦 P1～
　　1　「北」の眺め ～2 ポートフォリオとしての生物多様性
　　第 2 章　種と生態系の価値 P19～
　　1　蚊を絶滅させてはいけないのか ～3 搾取と機会費用－原生地域での人間のつながり
第 5 講：第 3 章　生物多様性と生態系機能 P39～
　　1　機能とサービス ～2 機能的冗長性－危機における多様性の意義
　　第 4 章　飼い馴らされた自然 P69～
　　1　生態系エンジニアたち－ビーバー、シロアリ、人間 ～4 生息地をつなぐ
第 6 講：第 5 章　社会－生態システム思考 P107～
　　1　大西洋タラ漁の教訓 ～4 人間が真に「社会的」であること
第 7 講：第 6 章　驕りから謙遜へ P137～
　　1　人工生態系の失敗から ～5 修復への展望
第 8 講：第 7 章　人間による人間のための生態学 P163～
　　1　何と何を秤にかけるか ～4 空間と時間のシステム統合
第 9 講：第 8 章　生態学者とニュー・エコロジー P193～

以降、教科書「ポスト資本主義 －科学・人間・社会の未来－ 」
広井良典 小澤祥司 岩波新書 No.1550 第 9 刷 2021.10.05 発行
第 10 講：はじめに 「ポスト・ヒューマン」と電脳資本主義
近代科学と資本主義と言う二者は、限りない「拡大・成長」の追求という点において共通しており、その限りで両輪の関係にある。しかし、地球資源の有限性や格差拡大といった点も含め、そうした方向の追求が必ずしも人間の幸せや精神的充足をもたらさないことを人々がより強く感じ始めているのが現在の状況ではないか。
このように考えていくと、私たちの生きる時代が人類史の中でもかなり特異な、つまり「成長・各題から成熟・定常化」への大きな移行期であることが、一つのポジティブな可能性ないし希望として浮上してくる。資本主義と言うシステムが不断の「拡大・成長」を不可避の前庭とするものだとすれば、そうした移行は、何らかの意味で資本主義とは異質な原理や価値を内包する社会像を要請することになるだろう。こうした文脈において、「ポスト資本主義」と呼ぶべき社会の構想が、新

たな科学や価値の有りようと一体のものとして、思考の根底にさかのぼる形でいまもとめられているのではないか。

序 章　人類史における拡大・成長と定常化 P1～

・ポスト資本主義をめぐる座標軸

1　「第四の拡大・成長」はあるか－超資本主義 vs ポスト資本主義

～3　現実とは農が見る共同の夢か？ソーシャル・ブレインと社会関係性

第Ⅰ部　資本主義の進化

第 1 章：資本主義の意味 P22～

1　資本主義とは何だろう ～5 「パイの送料の拡大・成長」と言う条件

第 11 講：第 2 章　科学と資本主義 P38～

1　資本主義と近代科学の同型性 ～7 「科学国家」と「福祉国家」

第 3 章　電脳資本主義と超（スーパー）資本主義 vs ポスト資本主義 P59～

1　資本主義あるいは工業化の空間的拡大 ～8 意識あるいは「思考する私」の根源

第 12 講：第Ⅱ部　科学・情報・生命

第 4 章　社会的関係性 P84～

1　アメリカの医学・生命科学研究政策 ～8 情報／コミュニティから生命

第 5 章　自然の内発性 P103～

1　世界の全体をどう理解するか－非生命－生命－人間 ～7 近代科学の先にあるもの

第 13 講：第Ⅲ部　緑の福祉国家／持続可能な福祉社会

第 6 章　資本主義の現在 P126～

1　経済格差と「資本主義の多様性」 ～8 「生産性」概念の再考

第 7 章　資本主義の社会化またはソーシャルな資本主義 P151～

1　社会的セーフティネットの進化

～9　富の源泉と税の意味－資本主義・社会主義・エコロジーの交差

第 14 講：第 8 章　コミュニティ経済 P177～

1　2 つの座標軸 ～12 日本の位置と現在

第 15 講：終 章　地球倫理の可能性－ポスト資本主義における科学と価値 P217～

1　長い時間とローカリティー －地震予知と地域の神社

～11　ローカルな自然信仰とのつながり

おわりに－あとがき P255～

準備学習（予習・復習）

印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。

わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。

成績評価の方法およびその基準

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 科目試験による評価 100%

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。

教科書

書　名：人新世の科学　ニュー・エコロジーがひらく地平

著者名：オズワルド・シュミッツ 著 , 日浦　勉 訳

発行所：岩波書店

ISBN：9784004319221

書　名：ポスト資本主義　科学・人間・社会の未来

著者名：広井　良典 著

発行所：岩波書店

ISBN：9784004315506

参考書・参考 Web サイト

書　名：人新世の資本論

著者名：斎藤幸平
発行所：集英社「集英社新書」

関連授業科目

なし

その他

なし

担当教員の実務経験

2006 年度から 2010 年度の 5 年間、企業の環境管理責任者として企業活動により生ずる環境負荷を低減させるための実践活動を統括した。ISO9001（品質管理）,ISO14001（環境管理）の取得および維持管理実務を指揮した。2011 年度から 2016 年度の 6 年間は、国立総合大学に全国で初めて設置されたサスティナブルキャンパス推進本部特任准教授・プロジェクトマネージャーとして、2 万 2 千人を超える構成員を擁する大学の教育研究活動により生ずる環境負荷を低減させるための実践活動を統括し、2015 年度には大学運営への貢献が認められ北海道大学総長賞を受賞した。
また、2013 年度、全国の研究教育機関の環境負荷低減活動の連携を図るため、CAS-Net Japan（キャンパスサスティナビリティ・ネットワーク)の立ち上げに参画し、現在も顧問を務めている。

これらの実践活動を通じて得られた知見をもとに、地球規模の課題から地域的な課題まで取り扱う実践的解決能力の必要性やこれを獲得する術を学生に伝え、我々ひとりひとりが，課題解決を通じて自分自身のサスティナビリティ学を組み上げることが重要であり未来世代への責務でもあること、そして自らが自らの力で未来社会を構想することが切に求められていることを教育する。

モチベーションの科学 人のやる気はどこから来るのか？

ナンバリング 2 単位　　DCS107

担当教員： 金間　大介

専　　門	イノベーション論、マーケティング論、モチベーション・マネジメント 知財マネジメント論
出身校等	横浜国立大学　大学院　修了　博士（工学） バージニア工科大学　大学院　客員研究員
現　　職	金沢大学　融合研究域融合科学系　教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業

授業範囲

教科書の内容すべて

試験期間

シラバス検索画面トップページ（https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/）下部の「2023 学年暦」を参照

試験範囲

授業範囲すべて
（持ち込み許可物）一切自由

科目の概要

モチベーションは人に行動を起こさせる源泉となるものであり、どの時代においても人が生きる上で欠かせない心理作用の 1 つとして注目されています。この講義は、モチベーション・マネジメントの入門的な位置づけにあります。 モチベーションの研究は古くて新しいテーマで、アメリカの心理学系の研究者を中心に、多くの研究蓄積と理論化がなされてきました。本講義で指定したテキストは、それらの一部をなるべくわかりやすく紹介することを第 1 の目標として書き下ろしました。

またこのテキストは、タイトルにもある通り、知識創造性を高めるモチベーションに焦点を当てています。したがって、必然的に学習や仕事へのモチベーションが中心となっています。さらにテキストの終盤では、最近の科学研究成果も随所に登場します。今後、教育や仕事の現場では、どのようなモチベーション・マネジメントが求められるのか、テキストとともに一緒に考えてもらえたらと思います。

創造性の意味する範囲は非常に広いものがあります。一般に創造性というと、優れたアーティストや一部の天才のみが発揮するもの、という認識がありますが、学術的には創造性は万人に備わっているものとして捉えることの方が多くなっています。そこでここでは、日常にちょっとした変化を加えたり、仕事の生産性を高めたりする創造性も議論の対象としながら、学習を進めていきます。

科目における学修の到達目標

モチベーションとは、日本語に訳すと「動機」「意欲」「やる気」のことで、人が一定の方向や目標に向かって行動するときに欠かせない要因のことです。言うまでもなく、モチベーションは人間社会にとって大変重要な要因であるため、古くから研究されてきました。一方で、これらの研究成果から得られる知識と、現在の教育や経済社会の現場で行われていることの間には、大きなギャップが存在することが明らかになっています。

この講義では、モチベーションに関する理論を理解することを第一目標とした上で、どのようにしたら研究成果から得られた知識を、仕事や教育、社会生活の場でより良く活用できるかについても、洞察を深めていきます。

講義の方針・計画

以下に 15 回分の授業内を示します。ただし、下記はあくまでも目安として、学習の進捗については、個人のペースに合わせて管理して下さい。

第 1 回：モチベーションとは・創造性とは
第 2 回：学習のモチベーション
第 3 回：フロー理論
第 4 回：内発的モチベーションと外発的モチベーション
第 5 回：公正理論・期待理論・承認欲求理論

第 6 回：競争とモチベーション
第 7 回：ハーズバーグの 2 要因理論
第 8 回：年齢と創造性の関係
第 9 回：学習性無力感
第 10 回：達成動機・パワー動機・親和動機
第 11 回：チャレンジ精神の源
第 12 回：職務発明報奨制度
第 13 回：職場におけるｲﾝｾﾝﾃｨﾌﾞ・ｼｽﾃﾑのあり方
第 14 回：まとめ・考察・レポート執筆（1）
第 15 回：まとめ・考察・レポート執筆（2）

準備学習（予習・復習）

印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。
わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。

成績評価の方法およびその基準

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 科目試験による評価 100%

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。

教科書

書　名：モチベーションの科学：知識創造性の高め方（初版）
著者名：金間大介
発行所：創成社
ISBN：9784794424525

参考書・参考 Web サイト

なし

関連授業科目

なし

その他

なし

担当教員の実務経験

2006 年から 2010 年にかけて，民間企業の研究開発部門および民間のシンクタンクと合同で，共同調査事業に従事した。当該企業に所属する若手の研究者や技術者を対象に，彼らのモチベーション構造を解明するとともに，即時的にマネジメントに反映させる事業を実施した。また，当該企業の研究開発から事業化までを見据えたイノベーションモデルの構築に務めた。
本講義（および本テキスト）では，これらの知見・経験を盛り込み，社会人となっても活かせる知識の定着を目指す。

ホスピタリティマネジメント ホスピタリティをプロフィットチェーンに繋げる

ナンバリング 2 単位　　DCS116

担当教員： 中里　のぞみ

専　　門　　ホスピタリティ、キャリア

出身校等　　北星学園大学 文学部英文学科

現　　職　　北海道情報大学 非常勤講師

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業

授業範囲

教科書と学習用プリントの内容すべて

試験期間

シラバス検索画面トップページ（https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/）下部の「2023 学年暦」を参照

試験範囲

教科書と学習用プリントの内容すべてが範囲となります。
（持ち込み許可物）一切自由

科目の概要

　経済において「サービス」の占める重要度は拡大傾向にある。ホスピタリティをいかに具現化し、いかに経営に活用していくかというホスピタリティマネジメントは企業経営には欠かせない。企業における実践事例を参考にホスピタリティマネジメントについて学ぶ。

科目における学修の到達目標

ホスピタリティマネジメントを学び、それを実践することができるようになる。

講義の方針・計画

教科書や学習プリントを参考にして「ホスピタリティ」について理解し、「企業の事例」なども参考にして「ホスピタリティマネジメント」について考察を深め、自分の置かれている状況でそれらを活用できるように学んでください。
興味のある企業などは、自律的にネットなどで調べてみるのも勉強になります。また、学習プリントで取り上げた企業については本も出版されているケースが多いので、そういったものも参考にするとよいでしょう。
教科書も通信教育の自学自習の中で、わかりやすく学び進められるように様々な事例を豊富に取り入れ、難しい内容であってもわかりやすい言葉で解説するように努めました。自分の言葉でまとめておくとレポート作成の時に有益です。
　時代は変化し、顧客のウォンツやニーズも変化し、それにともない顧客満足も変化しています。重要なことは自分の目の前にいるお客様に対して、その状況で自分にできる最大限のホスピタリティを具現化できるか否かです。
また、組織としてホスピタリティをどのようにマネジメントしていくか。あるいは、社員満足なくして顧客満足なしと言われますが、社員満足を高めるためにはどうすればよいか。様々な視点で考察することも必要となるでしょう。
自分がお客様の立場だったら、自分が社会人となってサービスを提供する立場だったら、現時点で社会人であれば、自分の仕事の中で顧客満足を高めるために今以上にできることはあるか・・・など、自分に当てはめて考察してみることも重要です。
　教科書や学習用プリントを通して、自立的かつ自律的に学習してください。

第 1 回：ホスピタリティの実践的意味とその背景①　～サービスとホスピタリティ～（第 1 章）
第 2 回：ホスピタリティの実践的意味とその背景②　～ホスピタリティマインドとホスピタリティスキル～（第 1 章）
第 3 回：ホスピタリティマネジメント①　～コミュニケーションを通してのマネジメント～（第 2 章）
第 4 回：ホスピタリティマネジメント②　～社員満足と顧客満足～（第 2 章）
第 5 回：ホスピタリティマネジメント③　～サービス品質のマネジメント～（第 2 章）
第 6 回：イレギュラリティへの対応①　～イレギュラリティと顧客満足～（第 3 章）
第 7 回：イレギュラリティへの対応②　～イレギュラリティの具体的技術～（第 3 章）
第 8 回：企業におけるホスピタリティの実践 ①　～亀田総合病院～（学習プリントと WEB サイト）
第 9 回：企業におけるホスピタリティの実践 ②　～マザーハウス～（学習プリントと WEB サイト）
第 10 回：企業におけるホスピタリティの実践 ③　～ TESSEI～（学習プリントと WEB サイト）

第 11 回：企業におけるホスピタリティの実践④　～星野リゾート～（学習プリントと WEB サイト）
第 12 回：企業におけるホスピタリティの実践⑤　～加賀屋～（学習プリントと WEB サイト）
第 13 回：企業におけるホスピタリティの実践⑥　～リッツカールトン～（学習プリントと WEB サイト）
第 14 回：サービスプロフィットチェーン（第 4 章）
第 15 回：総括（教科書と学習プリントの全体的な振り返りをする）

準備学習（予習・復習）

印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。
わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。

成績評価の方法およびその基準

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 科目試験による評価 100%

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。

教科書

書　名：ホスピタリティとホスピタリティマネジメント （初版）
著者名：中里 のぞみ　紺野　猷邦
発行所：株式会社パレード
ISBN：9784434240249

参考書・参考 Web サイト

学習プリントに掲載しています　　※履修期間に参考 URL が変更になる場合もあります。随時お知らせしていきます。

関連授業科目

なし

その他

なし

担当教員の実務経験

1983 年～1988 年まで日本航空国際客室乗員部に勤務し、その経験を活かして 1989 年～現 CLDlabo を主宰し、企業・病院・商工会議所などでホスピタリティの心・知識・技術に関する研修を実施。また、産業カウンセラーとして就職支援・再就職支援・定着支援も担当し、ホスピタリティ産業に求められる人材・顧客満足についての指導をしています。接客要員としての経験と様々な業種の企業などに出講した経験から、より具体的にわかりやすく、授業を実施しています。通信教育においては、自学自習が基本となりますが、ホスピタリティマネジメントの理解がより深まるように、事例を豊富に取り入れてテキストを執筆しました。情報大学以外の大学・専門学校・高校においても「ホスピタリティマネジメント」以外の授業も担当しています。

メディア・リテラシー入門 真実を読み取る力

ナンバリング 2 単位　　DCS109

担当教員： 伊東　正剛

専　　門　　マス・コミュニケーション論

出身校等　　北海道大学法学部

現　　職　　元北海道新聞編集委員、北広島市国保運営協議会委員、林業

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業

授業範囲

教科書の内容すべて

試験期間

シラバス検索画面トップページ（https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/）下部の「2023 学年暦」を参照

試験範囲

授業範囲すべて

（持ち込み許可物）一切自由

科目の概要

メディア・リテラシーとは、メディアの情報を批判的に読み解き、発信する能力をいいます。インターネットの普及に伴い、毎日膨大な情報量が私たちの日々の暮らしに押し寄せています。中でもフェイクニュース（虚偽ニュース）の問題は深刻です。メディアに煽られたり騙されたり、情報の海に溺れたりしないためには主体的に読み取る姿勢が欠かせません。加えてメディアの構造や特性、働きを理解することも重要な柱です。ニュースを読み、情報を発信するうえで心得ておくべき点を学んでもらいます。

科目における学修の到達目標

メディア・リテラシーの能力を身に付けて暮らしや社会に役立てるのが目標です。そのために具体的に三つの目標を設置します。第一に、ネット時代を迎え情報キャッチボールの基本をわきまえないと、情報の被害者になるばかりか加害者になる可能性もあると認識すること。第二に、人には自分の耳に心地よいニュースを聞きたがる傾向が強いことを意識しながら批判的に読み取る習慣を持つこと。第三に、既存メディアやポータルサイト、ＳＮＳなど様々なメディアの長所と短所、ビジネスモデルを理解して活用することです。

講義の方針・計画

まず「10 代からの情報キャッチボール入門」を読み、「メディアなんて自己流に自由に使いこなせるものだ」と過信していると、誤った情報を真に受け止め発信して、あらぬ事態を招きかねないことを知ってもらいます。著者の下村健一さんが「使えるメディア・リテラシー」として提唱している「4 つのギモン」「4 つのジモン」を学びます。

次に、烏賀陽弘道さんが書いた「フェイクニュースの見分け方」を読んで、偽のニュースを掴まされないためにクロスチェックが必要なことを学んでもらいます。最後に「はじめてのニュース・リテラシー」をもとに、さまざまなメディアから発信される情報の役割や特性、影響力などを適切に理解する力を育み、情報の出所を確かる習慣を心がけてもらいます。

第 1 回：誤った受信、誤った発信
第 2 回：情報をしっかり受け取るための 4 つのギモン
第 3 回：情報をしっかり届けるための 4 つのジモン
第 4 回：スピンドクター
第 5 回：インテリジェンスの基本
第 6 回：発信者不明情報
第 7 回：空間軸と時間軸
第 8 回：フェアネスチェックの視点
第 9 回：ディープフェイクと情報のエコシステムの崩壊
第 10 回：陰謀論に陥らないために
第 11 回：フィルターバブルとエコーチェンバー
第 12 回：アウトプットを意識して情報を読む
第 13 回：情報ランチ定食

第 14 回：情報の「次数」を考える
第 15 回：メディアのこれから

準備学習（予習・復習）

印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 2 単位で 60 時間かけて学習することを目安としています。
わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。

成績評価の方法およびその基準

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 科目試験による評価 100%

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。

教科書

書　名：10 代からの情報キャッチボール入門　使えるメディア・リテラシー（初版）
著者名：下村健一
発行所：岩波書店
ISBN：9784000610414
書　名：フェイクニュースの見分け方（初版）
著者名：烏賀陽弘道
発行所：新潮社
ISBN：9784106107214
書　名：はじめてのニュース・リテラシー
著者名：白戸圭一
発行所：筑摩書房
ISBN：9784480683984

参考書・参考 Web サイト

書　名：世論（上）（下）（文庫版）
著者名：W・リップマン
発行所：岩波書店
書　名：情報を活かす力（新書版）
著者名：池上彰
発行所：ＰＨＰビジネス新書
書　名：メディア不信　何が問われているのか（新書版）
著者名：林香里
発行所：岩波新書
書　名：フェイクニュースの生態系
著者名：藤代裕之編著
発行所：青弓社
書　名：ネットメディア覇権戦争　偽ニュースはなぜ生まれたか
著者名：藤代裕之著
発行所：光文社
書　名：ディープフェイク　ニセ情報の拡散者たち
著者名：ニーナ・シック
発行所：日経ナショナルジオグラフィック社
書　名：オシント新時代
著者名：毎日新聞取材班
発行所：毎日新聞出版
書　名：僕らが毎日やっている最強の読み方
著者名：池上彰、佐藤優
発行所：東洋経済新報社

書　名：「ポスト真実」時代のネットニュースの読み方
著者名：松林薫
発行所：晶文社
書　名：メディアと政治　改訂版
著者名：蒲島郁夫、竹下俊郎、芹川洋一
発行所：有斐閣

関連授業科目

なし

その他

　メディア・リテラシーの実践として、複数の新聞を読み比べてください。自分に興味のあるテーマを選び記事の扱いや内容を比較しながら自分の感想や意見を付箋で貼り付けてみてください。

担当教員の実務経験

1984 年から 2011 年まで北海道新聞社編集局に勤務。旭川、札幌、東京などで地方自治、地域経済、社会保障、首相官邸、経団連、宮内庁、大相撲の取材、執筆に携わる。1996 年に 1 年間、ロシア・ハバロフスクに駐在してソ連崩壊後の極東地域の混乱を報道した。この間、1990 年に国際ロータリー財団の奨学金を受けて 1 年間、スウェーデン・ストックホルム大学国際大学院に留学し、同国の政治と年金制度を研究。2018 年 12 月から非常勤で北海道新聞くらし報道部に、2019 年 8 月からはテレビ北海道（ＴＶｈ）報道部に籍を置き、社会保障問題などを取材、執筆している。

健康科学 心身共に元気に生きる方法

ナンバリング 2 単位　　DCS111

担当教員： 綿谷　貴志

専　　門　　スポーツバイオメカニクス

出身校等　　鹿屋体育大学大学院博士後期課程　単位取得退学

現　　職　　北海道情報大学　情報メディア学部　情報メディア学科　講師

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業

授業範囲

教科書の内容すべて

試験期間

シラバス検索画面トップページ（https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/）下部の「2023 学年暦」を参照

試験範囲

全 15 回の講義での学習範囲すべて
（持ち込み許可物）一切自由

科目の概要

身体の事について精神，肉体両面から幅広く理論的に理解を深める．

科目における学修の到達目標

情報社会の到来や社会環境の変化に伴い，国民の健康問題の様相も大きく変化してきている．現在，日本の平均寿命は男女ともに世界トップクラスであるが，現実に老後の心配がなく，健康に生き生き生活し，人生を全うしているとは考えにくい．様々な社会問題はあるがその根本に健康という基盤がなければ，豊かな人生とするのは困難である．この講義では，肉体，精神，そして社会的に健康に成るための方法を学ぶことを目的とする．

講義の方針・計画

第 1 回：今なぜ健康か―その現状と考え方―
第 2 回：現代社会の健康と健康状況
第 3 回：健康とは何か―健康概念の変遷―
第 4 回：からだの健康
第 5 回：運動不足と健康障害
第 6 回：運動の身体的効果
第 7 回：運動による健康づくり
第 8 回：心の健康
第 9 回：ストレスと健康
第 10 回：運動・スポーツの心理的効果
第 11 回：運動・スポーツによる心の健康づくり
第 12 回：健康生活とスポーツ
第 13 回：これからの生活と運動・スポーツ
第 14 回：健康づくりのための運動
第 15 回：スポーツ科学の基礎知識

準備学習（予習・復習）

印刷授業は，教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが，授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 1 単位で 45 時間かけて学習することを目安としています．わからない用語や内容は，参考文献等で検索することが準備学習として必要になります．

成績評価の方法およびその基準

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 科目試験による評価 100%

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。

教科書
書名：『新版　健康と運動の科学』 著者名：九州大学健康科学センター［編］ 発行所：大修館書店 ISBN：9784469263893
参考書・参考 Web サイト
なし
関連授業科目
なし
その他
なし
担当教員の実務経験
青森県スポーツ科学センター　スポーツ科学専門員

海外事情（アメリカ編）

ナンバリング 2 単位　　DCS113

担当教員：　Simon Thollar

専　　門	英会話一般、英語の発音、e-learning 一般、 動機づけ 一般、教育法
出身校等	タスマニア大学教育学部卒業　タスマニア大学経営文学士、タスマニア大学特別教育修士　英国国立シェフィールド大学日本研究修士
現　　職	北海道情報大学　経営情報学部　教授

授業形態	前期面接授業　8 月に 3 週間程度の英語研修をアメリカ合衆国オレゴン州のポートランド州立大学（以下 PSU）で行う。

授業範囲

なし

試験期間

試験実施なし

試験範囲

なし

科目の概要

米国行くとコロナ感染される可能性があるので、２０２３年海外事情は中止する可能性があります。その場合、また２０２４年から復活します。アメリカの代わりにオーストラリアで短期留学（海外事情）は可能かどうか検討中です。

- . - .

下記は今までの毎年のプログラムです。

　この科目の内容は、アメリカ合衆国オレゴン州ポートランドの PSU において開講される夏期語学研修に参加することである。研修は、主に毎日の英語の講義の受講と隔日のプログラムセミナー（PSU のカリキュラム）への見学・参加より構成されている。また、ポートランド市内観光などが盛り込まれている。

　なお、具体的な研修計画は 4 月中旬から案内し、その後説明会を行い、要項を配布する。

※正科生 B のみ履修可能。正科生 A、科目等履修生の履修不可。

科目における学修の到達目標

英語だけの環境に身をおくことにより、現時点での自己の英語力を認識し、今後の英語学習の方向性を見つけてもらうことと、外国人とのコミュニケーション・海外旅行に慣れてもらうことを目標としています。

講義の方針・計画

8 月上旬より PSU で 3 週間の英語研修を行う。本学学生のみのクラス編成で、PSU の経験豊富な講師が担当し、講義はすべて英語で行われる。講義は、「読む」「書く」「聞く」「話す」の四つの能力を総合的に伸ばすように工夫されている。

　講義、諸活動、ホームステイと生きた英語のシャワーを浴びることで、英語で会話することへの心理的負担を軽くし、コミュニケーションの手段として英語が通じる喜びを味わってもらうことを主眼としている。また、研修全体を通して、アメリカ人の日常生活に触れると同時にアメリカの社会と文化への関心・理解を喚起・深化させてもらうことも重要な目的となっている。

＊＊参加人数が限られていますので、応募者が多い場合には面接（インターネット上）で決めます。上の学年の学生を優先する時があります。

準備学習（予習・復習）

研修先へ行く前に配付する資料を元に事前学習を行う。

成績評価の方法およびその基準

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 事前レポート：10% <w:br />事後レポート：40%[帰国後に提出となります。] <w:br />その他：50%[現地語学研修機関での成績とする。] <w:br />なお、可能であれば事後に行

う報告会でのプレゼンテーションがあります。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法
提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
教科書
なし
参考書・参考 Web サイト
なし
関連授業科目
なし
その他
PSU より正式に研修参加者の成績評価を受ける。レポートもある。レポートの枚数ですが、A4 で 4 枚です。 1 枚あたり、4 枚までの写真添付をして、それに対してのレポート文を英語もしくは日本語で書いてください。 （1）全体的な感想 （2）ホームステイについて （3）一番楽しかった思い出 （4）アメリカとの文化の違いを感じたことについて 　これはガイドラインなので、少し自分の好きなようにアレンジしても OK です。英語で書く場合は、翻訳ツールに頼らず英文を作成してください。翻訳ツールの 英文はおかしな文章になるので 自分で考えた英文のほうがベターです。 日本語でも問題ありませんが、英語で書いたほうが点数は高くなります。 頑張りましょう！
担当教員の実務経験
Simon Thollar: Native speaker Published 3 text books Taught over 20,000 university students Over 10 presentations at international language conferences Teaching in universities over 30 years Involved with e-Learning for over 25 years Summer overseas programs coordinator Based on the above, the aim of this course is to help you understand and enjoy English.

海外事情（中国編）

ナンバリング 2 単位　　DCS114

担当教員： 田中　英夫

専　　門　　貿易論・国際関係論・国際経営論・中国語・中国ビジネス論

出身校等　　大阪市立大学大学院経営学研究科商学専攻後期博士課程修了（商学博士）

現　　職　　北海道情報大学　教授

授業形態	前期面接授業　8 月に 20 日間程度の中国語研修を中国の南京大学で行う。

授業範囲

研修で使用する教科書は、南京大学より配付されるので、授業範囲もその教科書になります。

試験期間

試験実施なし

試験範囲

研修で使用する教科書は、南京大学より配付されるので、試験範囲もその教科書になります。

科目の概要

テーマ：　南京大学での中国語会話能力の養成と異文化理解の体得

この科目は、実際に学生各自が中国の南京大学における語学研修に参加し、また二日間程度の研修旅行を通して、彼らが実践的な中国語を体得し、かつ現代中国事情と中国文化に対する理解も一層深めることを目的としています。また、学生各自が異文化を理解する能力を向上させると同時に、国際的視野と見識も確実に養成してゆくねらいもあります。

本年度も、本学と学術交流協定を結んでいる南京大学で、夏季休暇期間に 3 週間の中国語研修を実施する予定です。具体的な実施計画案及び参加資格については、 5 月頃から、学内に掲示するので、参加希望者は、必ず担当教員の正式な承諾を得てから、各自の履修届けを提出することです。

なお、研修の参加者には、人数制限が設けられているので、場合によっては、一部の学生には、当該科目の履修が許可されないこともあります。また、中国語研修及び研修旅行の日程などは、様々な事情により、計画が変更される可能性もあるので、十分に注意して欲しい。

科目における学修の到達目標

現地における実践的な中国語の習得及び研修旅行などを通して、学生各自が現代中国事情や中国文化に対する理解を深めてゆくと同時に、彼らの異文化理解能力と国際的視野及び見識なども大いに養成させたい。

講義の方針・計画

・夏期休暇期間に 3 週間程度開催される海外事情（中国語編）の方針と計画（5 月頃掲示）に基づきます。

・「南京大学短期留学プログラム」の内容を把握します。

・「南京大学短期留学プログラム」（キャンパス見学と南京市内観光など）に参加します。

準備学習（予習・復習）

・教科書や学習プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。

・わからない用語や内容は、参考文献などで検索することが準備学習として必要になります。

成績評価の方法およびその基準

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。　次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価します。 <w:br />　■現地の研修成績：70%　■レポート（研修日記）：20%　■現地の研修態度 10%（積極性など）

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

レポート（研修日記など）提出後,修正が必要な場合,メールで連絡します。

教科書

研修で使用する教科書は、南京大学より配付されます。

参考書・参考 Web サイト
なし
関連授業科目
なし
その他
なし
担当教員の実務経験
なし

海外語学・文化研修（中国大連編）

ナンバリング 1 単位　　DCS115

担当教員：　田中　英夫

専　　門　　貿易論・国際関係論・国際経営論・中国語・中国ビジネス論

出身校等　　大阪市立大学大学院経営学研究科商学専攻後期博士課程修了（商学博士）

現　　職　　北海道情報大学　教授

授業形態	前期面接授業　8 月に中国語研修を中国の大連で行う。

授業範囲

「大連東軟信息学院短期留学プログラム」の内容を把握します。

試験期間

試験実施なし

試験範囲

「大連東軟信息学院短期留学プログラム」の内容を把握します。

科目の概要

テーマ：現代中国の言語と文化及び習慣について学びます。

本学と学士課程学生教育に関する共同プロジェクト実施協定を結んでいる大連東軟信息学院で、夏期休暇期間に 2 週間程度開催される中国語・中国文化研修（「大連東軟信息学院短期留学プログラム」）に参加する授業です。

具体的な実施計画案及び参加資格については、 5 月頃から案内します。

なお、当該科目の単位は,現地に行って研修した学生にしか認定しないので、履修届は年度始めではなく、研修が決定した後、指定された期間内に提出することになります。

科目における学修の到達目標

・大連での実践的な中国語の習得を通じて,日常生活における中国語を理解できる力を養います。

・大連での異文化体験や研修旅行を通じて,中国の地理や文化に関する基礎知識を習得します。

講義の方針・計画

・夏期休暇期間に 2 週間程度開催される中国語・中国文化研修の方針と計画（5 月頃案内）に基づきます。

・「大連東軟信息学院短期留学プログラム」の内容を把握します。

・「大連東軟信息学院短期留学プログラム」（キャンパス見学と大連市内観光など）に参加します。

準備学習（予習・復習）

・教科書や学習プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書内容全体を 1 単位で 45 時間かけて学習することを目安としています。

・わからない用語や内容は、参考文献などで検索することが準備学習として必要になります。

成績評価の方法およびその基準

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。　次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価します。 <w:br /> ■現地の研修成績：70%　■レポート（研修日記）：20%　■現地の研修態度 10%（積極性など）

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

レポート（研修日記など）提出後,修正が必要な場合,メールで連絡します。

教科書

研修で使用する教科書は、大連東軟信息学院より配付されます。

参考書・参考 Web サイト

なし

関連授業科目

なし
その他
なし
担当教員の実務経験
なし

英語Ⅰ（初級英語読解） 日常会話に役立つ表現をマスターしよう

ナンバリング 2 単位　　DFL101

担当教員： C.Mclarty

専　　門　　言語学、英語学、異文化間のコミュニケーション

出身校等　　B.A.-Portland State University（　アメリカ、オレゴン州、ポートランド市），M.A.-Monterey Institute of International Studies（アメリカ、カリフオーニア州、モンテレー市）

現　　職　　北海道情報大学　経営情報学部　教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業・後期面接授業

授業範囲

教科書の内容すべて

試験期間

シラバス検索画面トップページ（https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/）下部の「2023 学年暦」を参照

試験範囲

授業範囲すべて
（持ち込み許可物）一切自由
（試験に関する注意事項）教科書は必ず持ち込んで下さい。

科目の概要

In this course students will be able to improve their English with a variety of reading, writing, speaking and listening activities. By using the exercises in this course students will become able to:
＊Give their opinions
＊Make requests
＊Complain politely
＊Survive abroad
＊Speak more freely
＊Find new friends
Since most of the textbook drills are not very difficult, students can master this material if they have a high school level background in English. There will be a review and a test.

科目における学修の到達目標

The purpose of this course is to help students gain basic survival skills in English.

講義の方針・計画

第 1 回：Chapter 1 – Introductions: Getting Acquainted
第 2 回：Chapter 2 – Dinner with Miyu's Host Family
第 3 回：Chapter 3 – Talking About Classes and Studies
第 4 回：Chapter 4 - Shopping
第 5 回：Chapter 5 – Getting Out for Dinner
第 6 回：Chapter 6 – Miyu's Part-time Job
第 7 回：Chapter 7 – At The Blazer Game
第 8 回：Review Chapter A – Review of Chapters 1-7
第 9 回：Chapter 8 – Poking Around at Saturday Market
第 10 回：Chapter 9 – A Change of Pace
第 11 回：Chapter 10 – The Portland-Sapporo Sister City Party
第 12 回：Chapter 11 – The Final Examination
第 13 回：Chapter 12 - Communication
第 14 回：Chapter 13 – Miyu's Farewell Speech at Portland International Airport
第 15 回：Review Chapter B – Review of Chapters 8-13

準備学習（予習・復習）

印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。
わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。

面接授業において、以下の準備学習を行う。
（予習）聴講前に、教科書の該当箇所に目を通してください。
（復習）聴講後に、教科書の該当箇所を読んで、確認してください。

成績評価の方法およびその基準

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 科目試験による評価 100%

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却します。

教科書

書　名：Hang In There! Elementary Conversation in English（初版）
著者名：Charles McLarty
発行所：丸善プラネット
ISBN：9784863451223

参考書・参考 Web サイト

重要米語イデイオム 1200
by Chris Cataldo and 藤井基精
日本英語教育協会

関連授業科目

英語 Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ,Ⅴ

その他

Good luck with your English

担当教員の実務経験

The instructor, who possesses over 30 years of experience teaching English in the U.S.and Japan, will provide students with sufficient opportunities to improve their English listening, speaking, reading and writing skills during the course of this study program.

英語 II（初級英会話） 中高で習った英語を英会話で使いましょう！

ナンバリング 2 単位　　DFL102

担当教員： Simon Thollar

専　　門　　英会話一般、英語の発音、e-learning 一般、 動機づけ 一般、教育法

出身校等　　タスマニア大学教育学部卒業　タスマニア大学経営文学士、タスマニア大学特別教育修士　 英国国立シェフィールド大学日本研究修士

現　　職　　北海道情報大学　経営情報学部　教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業・前期 IP メディア授業・前期インターネットメディア授業・後期インターネットメディア授業

授業範囲

教科書の内容すべて

試験期間

シラバス検索画面トップページ（https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/）下部の「2023 学年暦」を参照

試験範囲

授業範囲すべて
（持ち込み許可物）インターネット試験は、一切自由。IP メディア授業は辞書（電子辞書も可）のみ

科目の概要

この授業は会話が基本です。文法に縛られた英語学習から解放することを意図した講義で、さまざまな場面を想定した表現法を紹介します。e-Learning の場合は、よく chapter movie を見て下さい。わからないことがあれば、すぐに質問する姿勢が大切です。
IP メディア授業：毎週、英語と日本語で、ノートにテキストのメインポイントを書かなければなりません。

科目における学修の到達目標

この授業は基本の会話を習得することを目標とします。学生は基本的な文法をすでに習得していると思われますので、文法よりも会話(communication)に重点をおいています。

講義の方針・計画

全ての講義でテキストを使います。テキストは chapter1 から chapter14 まであります。会話を基本とし、話すことに重点をおくので、繰り返し練習すること。

＜学習方法＞
(1) chapter dialogue (English Story & Japanese Story)を読む。
(2) key sentence の説明を理解する。
(3) student exercises を解く。
(4) 次の chapter にすすむ。
（注）印刷授業の場合はレポート提出の前に、テキストを読み終えておくこと。またレポートの回答はテキストを参考にするようにすること。
（注）e-Learning の場合は、chapter の問題/選択問題を必ず解くこと。
（注）スクーリングの場合は、講義の流れに従って、積極的に発言すること。

＜ながれ＞
第 1 回： Chapter 1 "How you doing?"　　挨拶
第 2 回： Chapter 2 "This is Paul."　　人と会う
第 3 回： Chapter 3 "You doing anything?"　　予定
第 4 回： Chapter 4 "Let's go out!"　　招待
第 5 回： Chapter 5 "What can I get you?" 外食
第 6 回： Chapter 6 "Got a tissue?" 持っている
第 7 回： Chapter 7 "Crazy about Eric."　　好み

第 8 回： Chapter 8 "Is John there?"　　電話
第 9 回： Chapter 9 "What's wrong with me?" 病気
第 10 回： Chapter 10 "Never heard of it." 経験
第 11 回： Chapter 11 "In 2 weeks?" 過去未来
第 12 回： Chapter 12 "I've been waiting." どのくらい
第 13 回： Chapter 13 "Gotta go!" 提案
第 14 回： Chapter 14 "Take care!" 別れ
第 15 回： まとめ もう一度　key sentence を読むこと。(IP メディアの場合、模擬試験)

準備学習(予習・復習)

印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。
わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。

印刷授業以外の授業形態において、以下の準備学習を行う。
（予習）聴講前に、教科書の該当箇所に目を通してください。
（復習）聴講後に、教科書の該当箇所を読んで、確認してください。

成績評価の方法およびその基準

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 印刷授業・IM 授業　試験：100% <w:br />IP メディア授業　試験：55%、ノート：15%、宿題：30%　(宿題は学生がネット上で直接に提出します。)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。

教科書

書　名：Simon Says -Basic English Conversation for Young Adults- （第 2 版）
著者名：Simon Thollar
発行所：丸善プラネット
ISBN：9784863454187

参考書・参考 Web サイト

なし

関連授業科目

なし

その他

学習用プリントはありません。
印刷授業のレポート課題は、下記「レポート課題」をダウンロードして表示される案内文書を確認してください。

担当教員の実務経験

Simon Thollar:
Native speaker
Published 3 text books
Taught over 20,000 university students
Over 10 presentations at international language conferences
Teaching in universities over 30 years
Involved with e-Learning and effective Instructional design for over 25 years
Based on the above, the aim of this course is to help you understand and enjoy English.

英語 III（中級英語読解） 知られざるアメリカの今

ナンバリング 2 単位　　DFL103

担当教員： 竹内　典彦

専　　門　　英語教育、グローバル人材育成教育

出身校等　　筑波大学大学院

現　　職　　北海道情報大学　経営情報学部　教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業・前期面接授業・後期面接授業・後期インターネットメディア授業

授業範囲

教科書の（p25～p26、p31～p32、p37～p38、p43～p44、p49～P50、p61～p62、p73～p74、p85～p86）まで

試験期間

シラバス検索画面トップページ（https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/）下部の「2023 学年暦」を参照

試験範囲

授業範囲の内容すべて、学習用プリントの内容すべて

（持ち込み許可物）一切自由

試験に関する注意事項：自分の意見を述べなさいという問（日本語もしくは英語）は量を多くしっかりといて下さい。

レポートが合格していても、油断をしないで試験に臨んでください。1 年間に数名の学生が殆ど何も書かない答案の人がいますが、それはレポートが合格であっても、不合格になります。テストでは真剣に準備をして取り組んで下さい。

科目の概要

英語III（中級英語読解）では、アメリカが産んだ魅力的な人物やビジネス、そして文化や地域にスポットを当てて、学んでいきましょう。世界的に有名な事物、人物を英語で学んでいきます。

　グローバル感覚は全てがよしというわけではありませんが、世界というものを身近に感じられる全方向感覚を持てるように、全力で Let's start!!

科目における学修の到達目標

英語の読解力を養成します。英文の構造、文法や構文、単語や熟語等の英文を構成する要素を理解できるようになること。テキストの内容を理解したうえで、日本語に訳したり、英問英答（英語による質問に英語で記述回答）ができるようになること。日本語による質問にも論理的に回答できること。

講義の方針・計画

英和辞典・和英辞典を使いこなし英語大好き（ちょっとだけでも）人間になりましょう。

　指定ユニット（章）。余力のある人は他のユニットも目を通して下さい。学生の関心、興味ある章を選択してありますので、ページを間違えないように注意してください。

第 1 回：p25～p26　Steve Job's Legacy（スティーブ・ジョブズ）本文を全て日本語に訳し、
　　内容を理解する。
第 2 回：学習プリントを参考にしつつ、題材の深い理解に努める。
第 3 回：p31～p32　Disney and Marvel（ディズニーとマーベル）本文を全て日本語に訳し、
　　内容を理解する。
第 4 回：学習プリントを参考にしつつ、題材の深い理解に努める。
第 5 回：p37～p38　The Appeal of Aloha（アロハの魅力）本文を全て日本語に訳し、
　　内容を理解する。
第 6 回：学習プリントを参考にしつつ、題材の深い理解に努める。
第 7 回：p43～p44　New York City（ニューヨーク）本文を全て日本語に訳し、内容を
　　理解する。
第 8 回：学習プリントを参考にしつつ、題材の深い理解に努める。
第 9 回：p49～P50　Los Angeles（ロサンゼルス）本文を和訳し、内容を理解する。
第 10 回：学習プリントを参考にしつつ、題材の深い理解に努める。
第 11 回：p61～p62　Starbucks（スターバックス）本文を全て日本語に訳し、内容を理解する。

第 12 回：学習プリントを参考にしつつ、題材の深い理解に努める。
第 13 回：p73～p74　Amazon.com（アマゾン）本文を全て日本語に訳し、内容を理解する。
第 14 回：学習プリントを参考にしつつ、題材の深い理解に努める。
第 15 回：p85～p86　Facebook（フェイスブック）和訳と学習プリントで深く理解する。

準備学習（予習・復習）

印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。
わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。
印刷授業以外の授業形態において、以下の準備学習を行う。
（予習）聴講前に、教科書の該当箇所に目を通してください。
（復習）聴講後に、教科書の該当箇所を読んで、確認してください。

成績評価の方法およびその基準

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 科目試験による評価 100%

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。

教科書

書　名：Iconic America（知られざるアメリカの今）（初版）
著者名：Jeffrey Miller、萱　忠義
発行所：成美堂　2013 年 1 月 20 日初版
ISBN：9784791912858

参考書・参考 Web サイト

なし

関連授業科目

なし

その他

特記事項：常に新聞、テレビ、本、映画などで世界的な新しい知識、事実を貴方の中で増やしていって下さい。“TO SEE IS TO BELIEVE.”（百聞は一見に如かず）

担当教員の実務経験

実務経験なし

英語 IV（中級英会話） 英語でよく出る言葉の色々な使い方を覚えましょう！

ナンバリング 2 単位　　DFL104

担当教員： Simon Thollar

専　　門　　英会話一般、英語の発音、e-learning 一般、 動機づけ 一般、教育法

出身校等　　タスマニア大学教育学部卒業　タスマニア大学経営文学士、タスマニア大学特別教育修士　英国国立シェフィールド大学日本研究修士

現　　職　　北海道情報大学　経営情報学部　教授

授業形態	前期インターネットメディア授業・後期インターネットメディア授業・後期 IP メディア授業

授業範囲

教科書の内容すべて

試験期間

シラバス検索画面トップページ（https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/）下部の「2023 学年暦」を参照

試験範囲

授業範囲すべて
（持ち込み許可物）インターネット試験は、一切自由。IP メディア授業は辞書（電子辞書も可）のみ

科目の概要

この授業は会話が基本です。文型等の表現法は、さまざまな場面を想定したモデルを通して紹介します。この講義で紹介する英語は、現在使われている熟語やスラングも含み、実際の英会話を反映するものを選んでいます。e-Learning の場合は、よく chapter movie を見て下さい。スクーリングの場合は、授業に取り組む姿勢が問われますので、気合いを入れてスクーリングに参加するようにして下さい。
IP メディア授業：毎週、英語と日本語で、ノートにテキストのメインポイントを書かなければなりません。

科目における学修の到達目標

この授業は会話力をさらに向上させるコースです。すでに習得している会話力や聞き取りなどをもっと発展させることを重点としています。学生は英語 II で基本的な会話をすでに習得していると思われますので、会話力をさらに上達させることが目標です。

講義の方針・計画

全ての講義でテキストを使います。テキストは chapter1 から chapter14 まであります。会話を基本とし、話すことに重点をおくので、繰り返し練習すること。

＜学習方法＞
(1) chapter movie (on-line か CD)を見る。
(2)key sentence の説明を理解する。
(3)student exercises を解く。
(4) 次の chapter にすすむ。
（注）e-Learning の場合は、chapter の問題/選択問題を必ず解くこと。
（注）スクーリングの場合は、講義の流れに従って、積極的に発言すること。

＜ながれ＞
第 1 回： Use of the word ”how”
第 2 回： Use of the word ”what”
第 3 回： Use of the word ”take”
第 4 回： Use of the word ”have”
第 5 回： Use of the words ”there is/are, many/much”
第 6 回： Use of the words "it, that, one"
第 7 回： Use of the word ”get”
第 8 回： Use of the word ”give”

第 9 回： Use of the words ”say/speak/tell”
第 10 回： Use of the words ”see/watch/look”
第 11 回： Use of ”almost/nearly/just about”
第 12 回： Use of numbers, quantities & qualities
第 13 回： Use of tag questions
第 14 回： Use of the words ”come/go”
第 15 回： Revision of previous chapters

準備学習（予習・復習）

以下の準備学習を行う。
（予習）聴講前に、教科書の該当箇所に目を通してください。
（復習）聴講後に、教科書の該当箇所を読んで、確認してください。

成績評価の方法およびその基準

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 IM 授業　試験：100％ <w:br />IP メディア授業　試験：55％、ノート：15%、宿題：30%　（宿題は学生がネット上で直接に提出します。）

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

IM 授業は、練習問題を解答すると、解答に応じたコメントを画面に表示する。

教科書

書　名：HOBBYMAN（第 2 版 ）
著者名：Simon Thollar
発行所：丸善プラネット
ISBN：9784901689168

参考書・参考 Web サイト

なし

関連授業科目

「英語 II （初級英会話）」を履修済であることが望ましい。

その他

なし

担当教員の実務経験

Simon Thollar:
Native speaker
Published 3 text books
Taught over 20,000 university students
Over 10 presentations at international language conferences
Teaching in universities over 30 years
Involved with e-Learning for over 25 years
Summer overseas programs coordinator
Based on the above, the aim of this course is to help you understand and enjoy English.

英語Ⅴ（実用英語） イデオムで英語のコミュニケーションを楽しもう

ナンバリング 2 単位　　DFL105

担当教員： C.Mclarty

専　　門　　言語学、英語学、異文化間のコミュニケーション

出身校等　　B.A.-Portland State University（　アメリカ、オレゴン州、ポートランド市），M.A.-Monterey Institute of International Studies（アメリカ、カリフオーニア州、モンテレー市）

現　　職　　北海道情報大学　経営情報学部　教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業・前期面接授業

授業範囲

教科書の内容すべて

試験期間

シラバス検索画面トップページ（https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/）下部の「2023 学年暦」を参照

試験範囲

授業範囲すべて

（持ち込み許可物）一切自由

（試験に関する注意事項）教科書は必ず持ち込んで下さい。

科目の概要

In this course students will learn a variety of idiomatic phrases, slang and informal expressions now current in American English. With the new expressions students will be able to confidently handle, many situations in daily life in English speaking countries such as:

＊Expressing surprise or disbelief

＊Showing uncertainty or hesitation

＊Giving advice or encouragement

＊Discussing past or future events

The text's setting is Portland State University in Portland, Oregon, the American sister city of Sapporo, where Yoshie Karasawa is an exchange student. Through Yoshie's experiences and adventures students will see how the new expressions are used in American life.

The text will give students a chance to use the expressions actively and to get reading writing, listening and speaking practice. There will be a review and a test.

科目における学修の到達目標

The purpose of this course is to help students improve their intermediate level communication skills in English.

講義の方針・計画

第 1 回：Chapter 1 – Studying Abroad: To Go or Not To Go

第 2 回：Chapter 2 – Welcome Party for New Students

第 3 回：Chapter 3 – Talking About Teachers and Classes

第 4 回：Chapter 4 – Hitting The Town

第 5 回：Chapter 5 – The Business Presentation: Yoshie Makes It Happen

第 6 回：Chapter 6 – Voodoo Doughnut: The Taste of Portland

第 7 回：Chapter 7 – The Major League: Seattle Mariners vs Portland Pythons

第 8 回：Review Chapter A- Review of Chapters 1-7

第 9 回：Chapter 8 – Yoshie's Part-time Job at The P.S.U. Bookstore

第 10 回：Chapter 9 - Shopping Around at The Lloyd Center

第 11 回：Chapter 10 - Tests, Tests, Tests: Yoshie's Paper Chase

第 12 回：Chapter 11 - At The Oregon Coast: Getting Away from The Rat Race

第 13 回：Chapter 12 - The Portland-Sapporo Sister City Speech Contest

第 14 回：Chapter 13 - At Portland international Airport: Yoshie's Big Surprise
第 15 回：Review Chapter B – Review of Chapters 8-13

準備学習(予習・復習)

印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。
わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。

成績評価の方法およびその基準

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 科目試験による評価 100%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。

教科書

書　名：Make It Happen-Intermediate Conversation in English （初版）
著者名：Charles McLarty
発行所：丸善プラネット
ISBN ：9784863454484

参考書・参考 Web サイト

重要米語イデイオム 1200
by Chris Cataldo and 藤井基精
日本英語教育協会

関連授業科目

英語 Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ

その他

Good luck with English

担当教員の実務経験

The instructor, who possesses over 30 years of experience teaching English in the U.S. and Japan, will provide students ample opportunities to improve their use of idiomatic English based on the four skills of listening, speaking, reading and writing.

初級中国語 中国語ビギナーのための入門ガイダンス

ナンバリング 2 単位　　DFL106

担当教員： 田中　英夫

専　　門　　貿易論・国際関係論・国際経営論・中国語・中国ビジネス論

出身校等　　大阪市立大学大学院経営学研究科商学専攻後期博士課程修了（商学博士）

現　　職　　北海道情報大学　教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業・前期 IP メディア授業・前期インターネットメディア授業・後期インターネットメディア授業

授業範囲

・「発音編」の範囲は初級中国語の母音（36 個）、子音（21 個）、四声、軽声、音節の仕組みなど
・「文法編・読解編」の範囲は単語・文法・本文・練習問題など
・「会話編・中国語の豆知識編」の範囲はコラボ型会話で使う主要「助詞・副詞・介詞・助動詞」（9 個）など

試験期間

シラバス検索画面トップページ（https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/）下部の「2023 学年暦」を参照

試験範囲

・2 冊の指定教科書が範囲です。
・2 冊の指定教科書本文と語法からでるが、リスニングはありません。
（持ち込み許可物）一切自由

科目の概要

テーマ
基礎から初級程度の中国語の習得
概要
この講義では、授業担当者自身が書いた 2 冊の教科書を使い、初級中国語の発音・文法・読解の基礎を習得すると同時に、日常会話能力の養成も図りたいです。

科目における学修の到達目標

・初級中国語の母音、子音、四声、軽声、音節の仕組みなどを簡潔に解説し、正確な発音を習得します。
・単語・文法・本文・練習問題などの学習を通じて、初級中国語の文法と読解力を高めます。
・コラボ型会話で使う主要「助詞・副詞・介詞・助動詞」（9 個）の学習を通じて、初級中国語の日常会話力を高めます。同時に、中国語の豆知識も身に付けます。

講義の方針・計画

Ⅰ「発音編」の方針
初級中国語の母音、子音、四声、軽声、音節の仕組みなどを簡潔に解説し、正確な発音を習得します。
Ⅱ「文法編・読解編」の方針
単語・文法・本文・練習問題などの学習を通じて、初級中国語の文法と読解力を高めます。
Ⅲ「会話編・中国語の豆知識編」の方針
コラボ型会話で使う主要「助詞・副詞・介詞・助動詞」（9 個）の学習を通じて、初級中国語の日常会話力を高めます。同時に、中国語の豆知識も身に付けます。

具体的な講義の計画は以下の通りです。
第 1 回：発音編（その 1）
1．中国と中国語の基礎知識
2．母音（36 個）とは何か？
3．子音（21 個）とは何か？
第 2 回：発音編（その 2）
1．母音（36 個）と子音（21 個）の総合復習
2．「音節の仕組み」と「音節の綴りの規則」の解説

3．発音編課題の解答記入（受講者）と解答の解説（担当者）
第 3 回：文法編・読解編（第 1 課の単語、文法、本文、練習問題など）
第 4 回：文法編・読解編（第 2 課の単語、文法、本文、練習問題など）
第 5 回：文法編・読解編（第 3 課の単語、文法、本文、練習問題など）
第 6 回：文法編・読解編（第 4 課の単語、文法、本文、練習問題など）
第 7 回：文法編・読解編（第 5 課の単語、文法、本文、練習問題など）
第 8 回：文法編・読解編（第 6 課の単語、文法、本文、練習問題など）
第 9 回：文法編・読解編（第 7 課の単語、文法、本文、練習問題など）
第 10 回：文法編・読解編（第 8 課の単語、文法、本文、練習問題など）
第 11 回：文法編・読解編（第 9 課の単語、文法、本文、練習問題など）
第 12 回：文法編・読解編（第 10 課の単語、文法、本文、練習問題など）
第 13 回：日常会話編・中国語の豆知識編
1．コラボ型会話で使う主要「助詞・副詞・介詞・助動詞」（9 個）の解説
2．コラボ型日常会話編（第十三課～第十四課の単語と本文など）
第 14 回：日常会話編・中国語の豆知識編
1．コラボ型会話で使う「主要助詞・副詞・介詞・助動詞」（9 個）の解説
2．コラボ型日常会話編（第十五課～第十六課の単語と本文など）
第 15 回：日常会話編・中国語の豆知識編
1．コラボ型会話で使う主要「助詞・副詞・介詞・助動詞」（9 個）の解説
2．コラボ型日常会話編（第十七課～第十八課の単語と本文など）
3．課題の解答記入（受講者）と解答の解説（担当者）

準備学習（予習・復習）

・教科書や学習プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。
・わからない用語や内容は、参考文献などで検索することが準備学習として必要になります。

成績評価の方法およびその基準

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 科目試験による評価 100%

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

練習問題や課題は授業中にその解答の解説を行う形でフィードバックします。

教科書

使用教科書は以下の通りです。（2 冊使用）
・書　名：「新版」『会話で学ぶ初級中国語』（CD 付）
著者名：田中英夫
発行所：丸善プラネット
ISBN：9784863450066
・書　名：『誰でも簡単に話せる中国語日常会話』（音声再生アプリ付）
著者名：田中英夫
発行所：朝日出版社
ISBN：9784255453491
なお、IM 授業は以下の教科書内容を参照してください。
・[新版]『会話で学ぶ初級中国語』は全ての内容（第 1 回、第 3 回～第 1 2 回）
・『誰でも簡単に話せる中国語日常会話』は 14 頁～33 頁の内容（第 2 回）、50～51 頁の内容（第 13 回～第 15 回）、132 頁～179 頁の内容（第 13 回～第 15 回）

参考書・参考 Web サイト

なし

関連授業科目

・「海外事情（中国編）」（正科生 B のみ履修可能）

・「海外語学・文化研修（中国大連編）」（正科生 B のみ履修可能）
その他
なし
担当教員の実務経験
なし